

不必要な敗北（新約聖書：第一テサロニケ5章19～28節）

https://www.youtube.com/watch?v=HSLY5KI_kHc

では、神の言葉に入りましょう。テサロニケ人への手紙第一5章 御言葉の箇所は19節から28節、この章、またこの書簡の終わりまでになります。まだそこを開いていないなら、お願いします。開いた方は、お立ち下さるようお願いいたします。私が読みますので、ついてきて下さい。無理な方は座ったままで結構です。使徒パウロは、テサロニケの教会に手紙を書き、聖霊によって、伝えていきます。

19御霊を消してはいけません。

20預言を軽んじてはいけません。

21ただし、すべてを吟味し、良いものはしっかり保ちなさい。

22あらゆる形の悪から離れなさい。

または、訳によっては、こうあります。悪に見えるものさえからも。

23平和の神ご自身が、あなたがたを完全に聖なるものとしてくださいますように。あなたがたの霊、たましい、からだのすべてが、私たちの主イエス・キリストの来臨のときに、責められるところのないものとして保たれていますように。

彼はいつもそれを書き入れます。

24あなたがたを召された方は真実ですから、そのようにしてくださいます。

25兄弟たち、私たちのためにも祈ってください。

26すべての兄弟たちに、聖なる口づけをもってあいさつをしなさい。

27この手紙をすべての兄弟たちに読んで聞かせるよう、私は主によって堅く命じます。

彼らはそのようにするのですが...

28私たちの主イエス・キリストの恵みが、あなたがたとともにありますように。

ご一緒に祈りましょう。

ああ、主よ。あなたの御言葉に感謝します。今朝、私たちに与えられたこの御言葉をありがとうございます。主よ、ここには、あなたが私たちに示し教えようと望まれていることがとてもたくさんあります。しかし、聖霊が私たちの注意を引き、保ってくださらない限り、私たちの心は定まらず、私たちは気が散ってしまうでしょう。そして、あなたが与えようとするものを逃してしまうでしょう。だから、主よ、あなただけができるように... 私たちの注意を引き、聖霊によって、私たちの注意を引きつけておいてください。あなたが、御言葉を通して、私たちの人生の中に語りかけてくださるに際して。主よ、感謝します。イエスの御名によって。アーメン、アーメン。

有り難うございます。お座り下さい。今日お話ししたいのは、なぜ、私たちは信者として、不必要に、さらには、無駄に敗北したようなクリスチャン生活をしているのでしょうか？ 私がそのように言うのには、理由があります。その理由は、私たちクリスチャンは、すでにキリストにあって勝利を得ています。そして、そうであるから、私たちは、もはや敗北したクリスチャン生活を生きる必要はありません。

先週これを準備していたときに私にひらめいたことは、これは、サタンが私たちに聞かせたくない教えであり、ましてや従わせたくない教えの一つであるということです。彼は私たちにどんな教えも聞かせたくないのです。または神の御言葉の中の、どんな言葉にも聞き従わせたくないのです。しかし、これは特にそうなのです。その理由は、彼が私たちを落ち込ませることに全力を尽くしているからです。

敗北して。彼は私たちを敗北させ、私たちを破壊しようとしています。彼は吼えたける獅子のようだと、私たちに告げられています。歩き回って、我々をつまみ食いし、そして彼は、私たちに飛びかかるための最高のタイミングを待っています。私たちを破壊するために。問題は... それは本当に、皮肉中の皮肉です。

彼が敗北した敵なのであり、私たちではありません。しかし彼は、私たちに勝利を収めているような生き方をさせたくないんです。我々はすでに勝利をしています！ だから、勝利のうちに歩いてください。勝利のうちに歩き、勝利しているように生きてください。勝利の中に生きてください。お許しただければ、私は、三つの方法を共有したい... 私は先週、真剣に祈って主に求めてから、このアプローチを取ることにしました。他にもこの聖書箇所を説明し、教えるためのやり方がいくつかあったと思いますが、主が、私にこのアプローチを取らせようとしているように強く感じました。私たちが、クリスチャンとして勝利を失う、（勝利を失う！）三つの状況を分かっていたいただきたいと思います。その勝利はすでにキリストにあって私たちのものなのですが.....

一つ目は19-22節です。それは私たちが、聖霊を「消す」ということです。ここで注意すべきことは、これは、パウロが、エペソ人への手紙4章30節で聖霊を「悲しませる」と言うのとは異なることです。説明します。聖霊を悲しませるというのは、何であれ、聖霊の悲しみや痛みを引き起こすことを言ったりやったりすることです。さて、これは、私たちが聖霊が人格であることを知っていることと仮定しています。人格としての聖霊は、聖なる三位一体の（神の）第三位格が、私たちの内に住まわれます。あなたはそれが何を意味するか分かりますか？ 悲しむためには、聖霊は人格でなければなりません。私たちが、愛する人や私たちを愛してくれる人を悲しませうのと同じように。それと同じように、私たちは、私たちの内に住まれる人格としての聖霊を悲嘆に暮れさせ、悲しませ、悲哀と痛みを味わわせうのです。何か私たちが口にしたり、行ったり、または見たりすることによって。私たちがしている会話。聖霊はこんなになってます。「だめ！ だめ！ だめえ！」わたしの心はとても悲しんでいる！ それはわたしをとても悲しませる！ それは、聖霊を「悲しませる」ということです。

では、聖霊を「消す」とはどういうことでしょうか？ 聖霊を消すというのは、何であれ、聖霊の火を消してしまうことを言ったり、行ったりすることです。よって、聖霊の力を消し去るのです。ここが大事なことです。これについて考えてみてください。これは、次の二つの方法のいずれかで起こりえます。消火することによってか、放置することによってかのいずれかで。ですから、聖霊は火のようなものです。聖霊の火。そんなふうを考えてみてください。あなたはこの火を持っています。あなたはその火を消すことができます。あなたはそれを消したり、それに蓋をかぶせたり、水を注いだりできます。あなたはそれを消すのです。しかし、あなたはまた、別の方法でその火を消すことができます。それを放置することによって。私は、使徒パウロが、テモテに書いたことについて考えます。聖霊の残り火をかき立て続けよ。あなたの内にある聖霊の賜物を。あなたはそれを燃やし続けなければなりません。あなたがそれを無視して、それをしなかったら、聖霊の火は消えてしまうことになります。あなたがそれを放置したというだけで。またしても、心に留めて置いて下さい。私はあまり敵のことを高く評価したり、注目し過ぎたりしたくありませんが、私は敵がこれ一筋であることを伝えなければなりません。彼は、信者の内に宿っている聖霊が、力の源であることを知っているからです。彼は自分が敗北した者だと知っています。しかし彼はまた、私たちが暗闇の力に対して与える最大の脅威が聖霊の力であることを知っています。おそらく、なぜ私たちがクリスチャン生活において、無力な状態にされているのか、私たちはこれ以上見る必要はないでしょう。

と言うのも、当然なんです。私たちは力の源を消してしまっているんです。私たちは抑制してしまっています。消してしまっています。私たちは力の源を悲しませ、妨害してしまっているのです。クリスチャン生活の力の根源である聖霊の力を。

23-24節にあるこの二つ目のものは、いくら想像力をたくましくしても、分かり切ったことのように思えるでしょう。なぜなら、一度、力の源を消したら、あなたが聖霊の力を消したら、どうするでしょう？ ああ、あなたは力を製造しなければなりません。あなたは、自分の力でそれをしなければなりません。実に、これが、私たちが勝利を失う二つ目の状況です。既に私たちのものである勝利を。しかし、私たちは自力でそれをやろうとします。今朝の祈りの集会で私は.. 私はいつも祈ります。「主よ、あなたが言わせたくないことを私が言うつもりになっているなら、あなたは私に示して下さいさなければならま

せん。私がそれを言わないように。逆に、あなたが言わせたいことを、私に言うつもりがない場合、あなたは、私の心と意思を刺激してくださなければなりません。私がそれを言うように。今朝はそうでした。そして、私はそれをノートにとっていない。それはちょっと怖いことなんですけど。実は。ああ、想像してみてください。ノートのどこにもありません。私は聖霊に頼らなければなりません。ほらね。これが今日、主が私の心に与えたものです。これは個人的なレベルだけではありません。私たちクリスチャンはキリストにあって勝利がすでに私たちのものであるにも関わらず、敗北した生き方をする傾向があるというのは。

それでは、教会に関して、組織レベルではどうでしょうか？ よく聞いて下さい。聖霊を悲しませるなんて。さらには聖霊を消すなどとは... 教会がこの製造されたエネルギーに頼らなければならない時、彼らは自分の力で仕えています。そして、色んな企画があって、きらびやかに、派手に、色々やります。それは、御霊の欠如、さらには聖霊不在の結果として来るものだと私は信じています。この教会に長期間来ている方々には、一つのことがとても明らかになっています。派手さも、きらびやかさもありません。と言うのも、牧師を見たら分かるでしょう。つまり、ご覧の通り、そのままです。私の希望、私の祈りは... そして、主は私の心をご存知です。神が私たちをとて祝福してくださったこの美しい建物のドアを誰かが通り抜ける時、彼らが中に踏み入れたときに感じる感じがひとつあるように。そして、それが聖霊の存在であることです。だから、私のためのリトマス試験は、一日の終わりに誰かが私のところに来て、こう言うことです。「うわー！」「強烈でした。」そして、彼らは私を見ながら、こう言います。「それはあなたのせいではありませんでした。」「あなたは、それとは何の関係もありませんでした。」「あなたはただ代弁しただけです。」「主がここで私に会われたのです。」「主はここで私に会われました。」「主はここで、私に働いてくださいました。」「主はここで、わたしに話しかけてくださった。」「主はここにおられる！」私はここに立ち上がってショーをするつもりはありません。私たちには企画はありません。私たちはこの意味では珍しいと思います。私たちは「無企画地帯」である教会です。そんな風に言っていていいですかね？ なぜなら、私にしてみれば...どうか、誤解しないでください。あなたが聖霊の力を持っていなかったら、あなたはそれを補う必要があります。それを補うためには、何かを考え出す必要があります。私にとって最も開放的な真実の一つは...それが解放してくれるとき、それが真実であると分かりますよね。私にとって最も開放的な真実の一つは、それが私の責任ではないということです。プレッシャーはありません。私は、忠実でありさえすれば、そして、こんな風に言いたいのですが、聖霊に十分な余地を与えればいいのです。聞いて下さい。もしも、それが私次第で、あなたの注意を保つために私にプレッシャーかかっていたら、どうぞ、私を撃つして下さい！それは聖霊です。聖霊が、それを行います。

もう少し踏み込んで、教会を成長させるというプレッシャーが私にかかっていたら、この「教会成長運動」の餌食になるとしたら、なんということ。皆さんに、私のメールの受信トレイを見てもらえさえしたら...私のところにはメールが殺到します。もちろん、それらをブロックしますが。しかし、私はこれらのミニストリーからのメールでいっぱいになるんです。あなたの教会を成長させる10の方法。私は、何？ちょっと待ってください... ..それは私たちがすることではありません。そうではありません。想像できますか？ 教会を大きくするのが私の責務であったら？ つまり、いいですか？ 私を今、撃ち殺して下さい。なぜなら、それはあまりにも大きなプレッシャーだからです。できません。。。

つまり、それは不可能です。私にはできません。しかし、主がそうされます。主は毎日救われる人々を教会に加えてくださいます。私にプレッシャーはありません。私の仕事手引き書がどんなものか知っていますか？ それは実際には非常に単純です。もしかしたら、単純すぎるかもしれません。「容易」と「単純」を同じにしないでください。容易ではありませんよ。単純なんです。御言葉を説く.....それだけです。

それだけ。御言葉を説く。それだけです。おや、まあ...もしも私が、これをすべて工面して、作りあげなくてはならなかったら、そのプレッシャーの潰されるような重みの中で生きるなんて、想像もつきません。それは聖霊なのです。聖霊の力なのです。私は、自分がここに来さえすればよいことをよく理解

しています。そして私がするこの風変りなことがあって、以前にこの事は話しましたが、つまり、私がここに上がって来て、ここに手を置くと、主と私の間には、この決め事のようなことがあります。手が説教壇につくやいなや、私は言います。「さて、主よ、あなたが支配されます。」「あなたが私をコントロールされます。」「あなたは私に、力を与えられます。」「あなたは私に油を注がれます。」それから、奇妙に聞こえないことを願いますが....「あなたは私を所有しておられます。」私はとりつかれて(所有されて) います。聖霊によって。さて、この話には結末があります。「本当にそうならいいけど」と思っている方たちがいますね。これは御言葉の中で、どこが強調されているかに注意をするのが役立つ場所の一つだと思います。どういう意味かを説明します。パウロは、神ご自身があなたを聖化する、と言っています。

神は誠実なお方です。徹底的に。それから、彼はこう言います。それは最初の読み取りでは簡単に見逃しがちです。彼は、「神がそれを行う」と言います。その意味は？ あなたには、それを行うことはできません。神はそれを行う「つもり」だ、ではありません。私は「意志」に重点があるとは思いません。神はそれを「行なう」。私は「行なう」に重点があるとは思いません。神は「それを」行なう。私は「それ」に重点があるとは思いません。重点は、「神」に置かれていると思います。「神が」それを行なう。あなたじゃないです！あなたじゃないです。あなたにはできません。神にはできます。神にしてくださいのです。ところで、私は今、皆さんに三段階のプログラムを紹介しました。あなたの知る限り限りで、最も効果的なプログラムです。

ステップ1。

あなたができないことに気づく。

ステップ2。

神にはできることを知る。

ステップ3。

神にしてください。

神にしてくださいのです。神の邪魔をしないでください。神の邪魔をしないでください。私たちは最近ここで、牧師の会議を開きました。牧師がみんな、順々に神が何をされているかについて少しずつ分かち合いました。そして、私の番になったとき、私は、。。。主よ、何を...私は何を話していいかわかりません。なぜなら、主がそれをすべてやったからです。神が全てをやっています。つまり、私は乗り物と一緒に乗っているだけで、私はただ、あなたの邪魔をしないようにしているだけです。すると主は、そのことを話しなさいと言われました。だから私はそうしました。それは本当に短かったです。この私が、手短に。それ自体が奇跡でしたが....私はかなり大まかに、シンプルに話しました。私が全てのことから一步下がってみると、本当に適切な視点で見ることが出来ます。私が気づいたのは、私ができる最善のことは、神の邪魔にならないようにすることです。そして、神にしてくださいのです。神は誠実なお方です。主は、それをしてくださいます。自分自身に正直になりましょうか？ 私たち自身では、私たちは絶対に、何もすることができません。主から離れては。特に、とりわけ私たちの聖化に関しては。聖化とは基本的に、「別にしておくこと」を意味する言葉です。ここに具体的例えがあります。私が聞いた中で一番良い例えです。皆さんがより良い例えをご存知なら、後で知らせてください。第二礼拝でシエアーします。ウェディングドレス。それは取りのけられています。「聖化」されていると言うことができるでしょう。それはあなたが毎日着るものではありません。いいえ、それは特別な機会のために取りのけられています。それが聖化されるということ、浄化されるということ、聖別されるという意味です。自分を聖化するの私の仕事ですか？ いいえ！ 私は、パウロがガラテヤの教会に書いた手紙のことを思います。彼は言います。「皆さんは何をしているのですか？」「どうしたのですか？」彼はそんな風には言わなかったんですが..おおまかに言い換えてみました..彼は言います。「誰があなた方を騙したのですか？」どうやら、あなたがたは魅せられてしまったようです。そして今、あなたがたは御霊の中で始まったものを完成させようとし、あなたは肉にあって、自分でそれをやろうとしています。それは起こりません。それは起こり得ない。神が、それを行ないます。神にしてもらってください。神

の邪魔をしないようにして。繰り返しますが、ここが重要です。私はこれを誇張したくはなくて、本当は、この三番目に行きたいんですが。それはちょうどパッケージ全体にリボンを結ぶようなものです。そういう言い方ができれば...しかし、私は言いたいんです。それは本当に、人生のすべての分野に適用されます。私たちの結婚において、私たちの家庭において、特に教会のミニストリーでは。あなたは聖霊に頼らなければなりません。聖霊なんです。あなたには聖霊の力が必要です。聖霊の力がなければ、あなたはほどなくして、自分の肉のエネルギーで働こうとしていることに気づくはずで。そして、それは大失敗のもとです。大失敗です。。。

最後に一つ。今のが最後の一つだと言ってあったのは分かってますが...しかし、最後にもう一つ、思うことです。私は、人々からこう尋ねられるのが大好きです。「うわー、あなたたちは本当に恵まれていますね。」彼らが、言外に本当に尋ねているのは、「あなたの成功の秘訣は何ですか?」ということです。それが大好きです。彼らがそう尋ねない場合でも、私はそれに答えようとしています。私の答えを知っていますよね?

神は、知恵ある者をはずかしめるために、この世の愚かな者を選ばれるのです。(1コリント1:27)

私の履歴書を見たことがありますか。私は実際には、履歴書を持っていませんが、たとえ履歴書があったとしても、それはあまり立派なものではありません。立派でない履歴書でも、何の問題もありません。私たちは木曜日の夜にこのことについて話しました。神は、言われているように、「資格のある人」を召命されるのではなく、神は召命を受けた者に資格を与えられるのです。そして、神が召し出し、選択し、用いられるのは、最も小さい者、あとの者です。神だけが栄光を受けるために。それがもし私だったら? そして、私がかかなり立派な者であったら? つまり私の名前には、(肩書の)文字が付いていて...繰り返しますが、それは何も悪いことではありません。私の名前には、何の(肩書の)文字も付きません。だから私は自分の名前を変更し、代わりに文字を入れたんです。JD、それは何を表していますか?

(Jesus' Disciple) イエスの弟子です。私は肩書を持っていません。私は色々な学位を持っていません。皆さんが2階の私のオフィスに行って壁を見たら、壁のペンキだけです。私は何も持っていません。つまり、それは.. 私はあまり立派な者ではありません。つまり、どうしたもこうしたも、私を見てください。しかし、そこが要点じゃないですか? 最終的に、この教会から皆さんが帰って行かれる時に...最後まで聞いてください。私はみなさんに「JD」という名前を口にしてほしくないんです。「うわー、あのJDって...」「カルバリーチャペル」という名前すらも言って欲しくないんです。「うわー、あのカルバリーチャペルって!!」お願いですから、そんなことしないでください。なぜなら、聖霊はカルバリーチャペルやJDを奨励するために来たのではないからです。私たちがそうすると...これは私自身の人生の中で、神が私を取り扱ってこられたことです。私たちがそうすると、聖霊は「おや、ごめんよ。悪かったね、JD。わたしは出て行くよ。」「わたしがここにいるのは、それをするためではない。」「わたしはあなたを奨励するためにここにいるのではない。」「あなたの教会やあなたの集会の名前を奨励するためでもない。」いいえ。「わたしの唯一の目的は、イエスの名前だ。」私たちが救われるべき名として、人間に与えられている唯一の名前です。すべての舌が告白し、すべての者が膝を屈める、イエスの名前。

いいでしょう。これで気分が良くなりました。

三つ目に行きましょう。25節から28節。これが、私が残りの時間で話したいことです。それは、私たちが謙虚になろうとしないということです。25節に注目してください。パウロは、謙虚になって、祈りを求めます。ええ? ちょっと待ってください。私たちが話しているのは、使徒パウロですよ。彼が部屋に入ってきたら、みんな、それが誰であるか知っていました。私の想像するパウロは、このようなとても力強い人です。聖霊の力に満たされて。彼がいるだけで...!そして、あらゆる正当な権利によって、彼が手紙を書くとき、あらゆる正当な権利によってこう書き出すことができたでしょう。「使徒の中で最

も尊敬されるべき...パウロ...。」ふさわしくない。しかし、何が興味深いか知ってますか？ 手紙の導入部を読むと「使徒パウロ」ではありません、「罪人の長」であるパウロです。罪人の長！これは、神が見るように、自分自身を見た男です。これは、自分自身を過大評価しなかった人です。彼はすすんでへりくだり、こう言います。「ねえ、みんな、私のために祈ってくれますか？」自分のために祈ってくれるように誰かに頼むためには、とても謙遜にならなければならないということに同意してもらえますか。聞いてください。牧師として、私は告白しなければなりません。私にとって... これは時々、人々を混乱させます。「あなたは牧師でしょう。」「それなのに、あなたは祈りが必要なのですか？」「私は、牧師というのは完璧な結婚、完璧な生活を送っていると思っていました。」皆さんは、そうは思わないでしょ？私をそんなふうに見ないで下さい。ちょっと怖くなりますから。皆さんは、お分かりですよ。牧師として、それが大変な謙虚さを必要とすることを。これが重要なのですが... 私たちは、木曜日の夜に箴言を学んでいます。できたら、みなさんが来て一緒に参加されることを心からお勧めします。それは、箴言と言う素晴らしい書を学んでいく、興味の尽きない学びです。しかし、箴言に何度も出てくる内容の一つは、高ぶりの愚かさ、謙虚さの知恵です。実際、知恵は謙虚さから来ます。そして非常に多くの箴言がうたっているのは、神が、高ぶるものをへりくだらせ、へりくだる者を引き上げることです。実際、それらは恐ろしいものです。なぜなら、特にその中の一つは、

「主の御前でへりくだりなさい。そうすれば、主があなたがたを高くしてくださいませ。」

(ヤコブ4:10)

なぜそれが恐ろしいのですか？ なぜなら、私はこれをこう読むからです。「主があなたのためにそうなさる前に、神の御前でへりくだりなさい。」この謙虚さを、私たちは求めません！！プライドが高すぎるから。「私は人々に低く評価されたくない。」「私は人々に見られるから.. すべてうまくやりこなしているかのように見せかける。」「というのも、教会の駐車場に入って来る時の私を見て下さい。」あのクリスチャンらしい満面の笑み。私たちが見なかったのは、あなたがここに来る前のことでした。あなたが子供たちに怒鳴りつけ、奥さんと喧嘩していたこと。そして、あなたは教会の駐車場に入ってくると...騙されませんよ。どういうことか、分かりますか？ それは単なる誇りではありません。それは霊的な誇りです。それは最悪です！ 霊的な誇り。提案します。一緒に考え、同意できるかどうか考えてほしい。霊的な誇りが主な理由の一つとなって、私たちクリスチャンは、そのような敗北した生き方をしているのです... 私たちはプライドが高すぎて、助けを求められません。私たちはあまりにもうぬぼれて、あまりにも偽善的で、あまりにも霊的に高ぶっていて、兄弟姉妹に言うことができません。「ねえ、私のために祈ってくれませんか？」おおう。何のために？「ああ、私はあのこと、このことで苦悩しています。」「ああ、全然知らなかったわ。」

私はこの調子で終わらせたくありません。だから、私はあなたを励ましたいと思います。これは、単純化し過ぎていように思えるかもしれませんが、私たちは三つの理由を見てきました。私たちクリスチャンが、なぜ敗北したクリスチャン生活を送るのか？ 聖霊を消し、その力の源を断ち... 繰り返しますが、聖霊、聖なる生活。私たちは自分自身では、聖霊がいなければ、私たちは聖いクリスチャン生活をする望みは全くありません。それで、力の源を遮断したから、よって、今度は自分自身の中にあるエネルギーと力を奮い起こそうとします。そして、私のプライド、へりくだって頼みたくない思い... 私たちは弱いと思われたくない。だから、答えは何ですか？ あなたは私を見ています。あなたはここに座っています。オンラインで視ています。そして、あなたは心の中でこう思っています。私のことをよく知ってますね。「これは私のことです。他の誰もこれを聞く必要はありませんでした。」「私は、これを聞く必要がありました。」「私は全く、完全な敗北の中を歩いてきました。」「私は勝利を得ることができません。」あなたはすでに勝利をしています。「私は勝利を体験できません。」「私は勝利のうちに生きられない。」「私は勝利の歩みができない。」「どうしたら良いのですか？」答えは何ですか？ どうすれば、私は、勝利のクリスチャン人生を送れるのですか？ 答え？ いいですか？ いきますよ。求

める...それが、単純化し過ぎだと言っておきましたね。求めるんです。ヤコブは言っています。

「あなたがたのものにならないのは、あなたがたが願わないからです。」 (ヤコブ4:2)

神が答えられない祈りは、あなたが祈らないものです。どうでしょう？ 求めてください！ イエスは、例え話と実例を用いて語ってます。イエスは言われます。「あなたたちは、地上の父親として、子供たちが願うとき、良い物を与えることを知っています。つまり、さあ。あなたの子どもが魚を求める時に、彼らに蛇を与える親がここに誰かいますか？ あるいは、彼らがパンを求めるのに、石を与えますか？ それは起こらないでしょう？ そして、あなたは悪い者です。あなたは地上の父親として墮落しています。皆さんが願うなら、天の御父がどうして御霊を与えてくださらないのでしょうか？ だから今朝、この箇所を教えることを念頭に、私は主に願いました。聖霊の力で私を新たに満たし、新たにバプテスマを施してください、と。なぜなら、私がそこに立つ時、聖霊が私に力を与えてくださらなければ、忘れた方がいい。それじゃあ、だめ。(Itain'tgonnahappen.)私はこれが正しい英語ではないことは分かっています。どうか電子メールを送らないでください。分かりますか？ それは聖霊の力なんです。明日の朝、目覚まし時計が鳴る時、どんな感じでしょうか？ 次のとおりです。あなたは朝起きて、「朝早く、私は起きてあなたを求めます。」そして、あなたは主に求めます。「主よ、今日は大変な一日です。私には聖霊の力が必要です。10時からの会議のために聖霊の助けが必要です。2時からの医者予約のために聖霊の助けが必要です。仕事から帰宅するときのために聖霊が必要です。そして、ドアを開けた途端、現実にぶち当たります。妻が言います。「さあ、子供たちの面倒を見て！」私には聖霊が必要です。聖霊が必要です。聖霊の力が。一日の終わりに、私がその日を振り返って、本当に、誠実にこう言うことができるように。「勝利の日だった」「今日は勝利を取めた。」「私は不必要にこの敗北の中に生きなかった。」「聖霊の力のおかげで。」祈りましょう。

主よ、感謝します。主よ、この礼拝でここにいる人や、オンラインで視ている人の中で、人格としての聖霊に関して、あなたが彼らの人生に非常に明確に語られたのを聞いた方誰にとっても、今日が新しい始まり、新しいスタートになることを祈ります。それが、オンラインで視ている牧師であっても。そして、これが、あなたが問題として明確に示されるものです。彼らが聖霊の力で奉仕していない、と。今日が、新しいスタート、この新しい始まりの最初の日になることを祈ります。ただ、あなたに聖霊を求めることになりやすいように。そして、あなたの働きの妨げにならないこと...あなたがお望みの通りにできますように。イエスのお名前で。アーメン

メッセージbyJDFarag牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

CalvaryChapelKaneohe47-525KamehamehaHwy.Kaneohe,Hawaii筆記hukuinn7